

中央区エコタウン構想 東京駅前地区 概要版

1. 中央区エコタウン構想とは

環境、エネルギーに関わる様々な問題

- ・ 地球温暖化の進行
- ・ 災害など非常時も踏まえた自立・分散型エネルギーの確保
- ・ 都市における緑の確保、ヒートアイランド対策など
- ・ 国のエネルギー政策の見直し

魅力ある地域づくり

- ・ 人が訪れたい、住みたいまちづくり
- ・ 地域の歴史・文化を活かした地域独自の魅力向上
- ・ 地域の資産価値の向上、安全・安心の確保
- ・ 以上を達成するための中長期を見越したインフラ整備と地域マネジメント力の向上 など

中央区エコタウン構想

環境、エネルギーの様々な問題に対応し魅力ある地域をつくるための中長期の構想

東京駅前地区：業務系地区のモデル

晴海地区：住居系地区のモデル

エコタウン構想の対象範囲

環境面が中心ですが、それだけでなく、社会面、経済面も含めた、地域の課題を地域で解決するための構想です。

エコタウン構想の実施主体

住民、事業者、行政が協力して実施します。また、これらの主体の協力のもと、構想を推進するエリアマネジメントの組織の立ち上げも検討します。

2. 東京駅前地区の資産と課題

東京駅前地区の資産と課題を踏まえて、地域の実情に沿った将来の方向性を定めます。

地域の資産

- ・ 商業・業務施設の集積
- ・ 鉄道、バスなど充実した交通網
- ・ エネルギー効率の高い新規開発案件
- ・ 整備された地下街、来訪者による賑わい
- ・ 日本橋川や歴史的建造物、魅力ある老舗 など

地域の課題

- ・ 羽田空港国際化に対応した東京駅前広場の機能強化
- ・ 違法駐車や違法駐輪、交通マナーの向上
- ・ エネルギーの面的利用拡大、地区全体でのCO₂削減
- ・ 地区の歴史的な魅力を活用した更なる賑わい形成
- ・ 地区全体の魅力向上に取り組む主体の形成 など

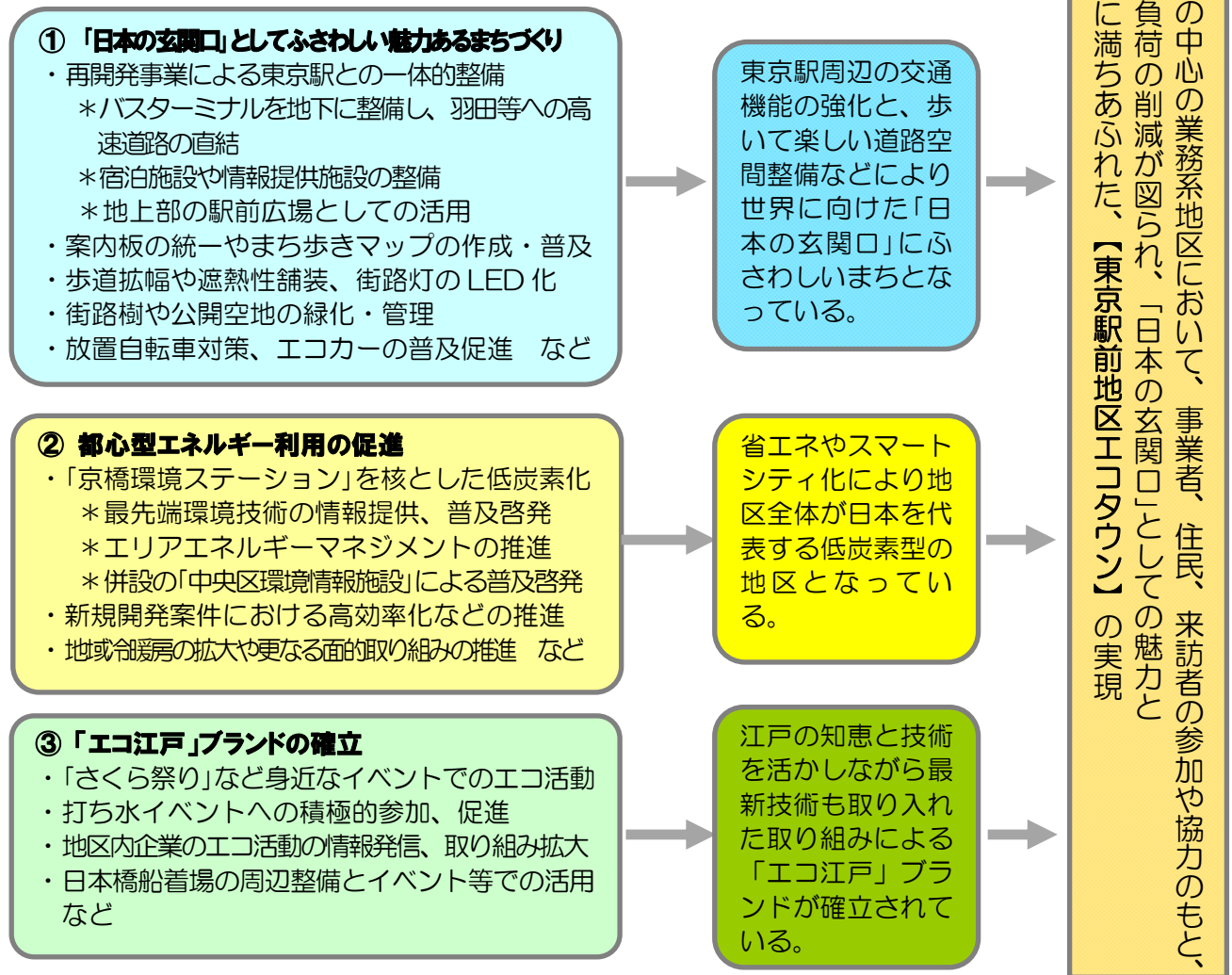
3. 東京駅前地区が目指すまちの将来イメージ



- 東京駅周辺の交通機能の強化により 羽田・成田空港へのアクセス性が向上しています。
- 広場やゆとりある歩行空間、緑と水辺の整備、地上と地下のアクセス改善など 歩いて楽しいまちとなっています。
- スマートシティ構築など 日本を代表する低炭素な地区となっています。
- 打ち水、イベントでのエコ活動など 江戸の知恵と技術を活かした環境配慮の取り組みが実施されています。
- 区民、事業者、区の連携のもと、エリアマネジメントの仕組みが確立されています。

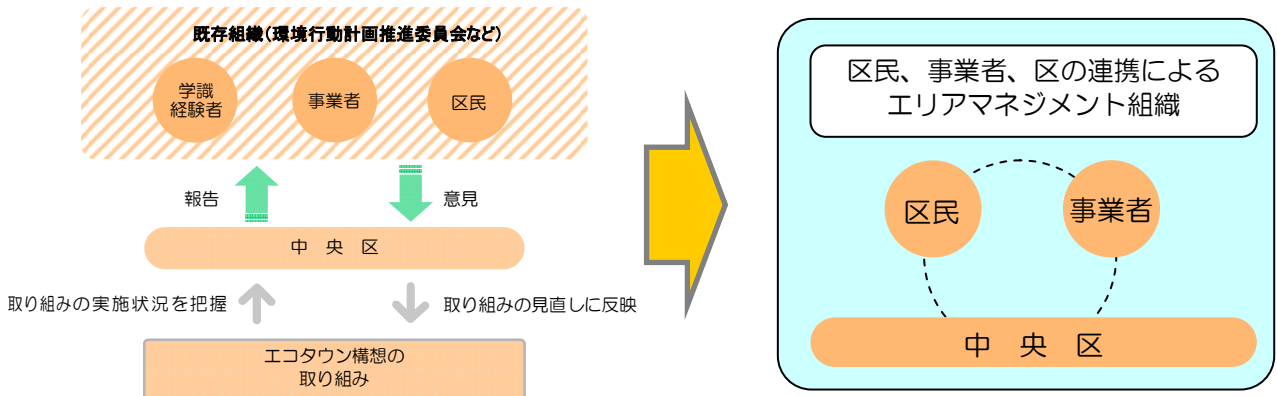
4. エコタウンの実現に向けた取り組み

3つのプロジェクトを推進し、エコタウンの実現を目指します。



5. 進行管理

エコタウンの進行管理は、PDCAサイクルに基づき、実施します。始めは既存の組織を活用し、将来的にはエリアマネジメントの組織を設立する等により取り組みを推進します。



「エコタウン構想」の検討経緯 ※平成22~23年度の2カ年をかけて検討しました。

- ワークショップ(計7回): 地区内の自治会、商店会、エネルギー事業者、東京都職員、中央区職員により構成されたワークショップを開催(学識アドバイザー村木美貴千葉大学准教授)
- 中央区子供環境サミット2011(城東小学校などの発表)
- 地区内区民・事業所へのアンケート